

キラリ



中野のチカラ

しばた けん と 柴田 健斗 さん【信濃グランセローズ】



信濃グランセローズ初 日本プロ野球ドラフト本指名

最速152kmの速球を武器に、信濃グランセローズでセットアッパーとして活躍した柴田健斗選手が、10月24日に行われたプロ野球ドラフト会議でオリックス・バッファローズから7位指名を受けました。今回は、来シーズンからNPB（日本野球機構）に挑戦する柴田健斗さんにお話を聞きました。

○始めたきっかけ

幼いころ最初に始めたスポーツはサッカーでした。野球を始めたきっかけは小学校3年生のときに友達全員が野球に転向したことです。友達の影響から野球人生がスタートしましたが、中学校でもボーイズリーグで野球を続け、中京大中京高校に入学後は野球漬けの毎日を過ごしました。寮生活の3年間は特に厳しかったのですが、礼儀やあいさつを学んだ高校生活があったおかげで、今の自分の成長につながっているのだと思います。

○私のジレンス

私はマウンドに行くとき必ず口にする言葉があります。
「この一日は唯一無二の一日なり。さればチームのためファンのため、全身全霊を込めて投球すべし」
この言葉を口にするので、セッ

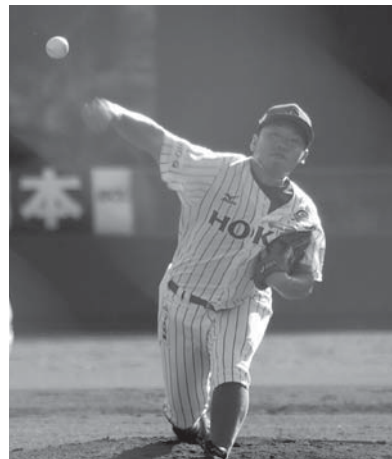
トアッパーとしていつ投げられるかわからない状況でも気持ちにスイッチを入れることができます。

○市民へ一言

熱心なファンの方が多く、さまざまな面からバックアップしていただきました。スポンサーの皆さんや市民の方からも全面的なサポートを受け、特に「そば処一心」でいただいた食事は忘れることができません。中野市というとても素晴らしい環境があったおかげでNPBに入るこゝとができました。しっかりと成績を残し、開幕一軍を目指して頑張ります。

○球児たちへ一言

これからの人生の中で、すごいと思うプレーヤーに数多く出会うと思います。しかし、その人に敵わないと諦めるのではなく、自分もそのレベルまで上がろうと自信を持って挑戦することが大切だと思います。現状に満足することなく、常に新しい目標を作り、それに向かって頑張ってください。



応募コーナー

○広報クイズ

■今月のプレゼント

「絵付け体験ペアチケット」…2人

問題

中高交通安全協会のキャラクター創作土人形「お●さん」

クイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、世帯主名を記入し、今月の広報で参考になった記事、今後知りたい情報などをご記入いただき、12月25日(水)までにご応募ください。※当選はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

○我が家のアイドル

小学校就学前（平成20年4月1日生まれまで）のお子さんを募集します。（先着5人のみ掲載）

- ①お名前（ふりがな）
 - ②生年月日
 - ③性別
 - ④応募者のお名前
 - ⑤住所
 - ⑥電話番号
 - ⑦メッセージ（30字まで）
- を明記し、写真データを添付のうえ、12月16日(月)までにご応募ください。

問い合わせ・応募先

〒383-8614（住所記載不要）

庶務課秘書広報係

☎21111（内線212）

Eメール koho@city.nakanano.nagano.jp

手塚芙実さん
からのご紹介



○自己紹介

買い物が大好きで、休みの日にはいろいろなお店に出掛けています。商品を買うだけでなく、選んだり見ていることも楽しくて、紹介をいただいた手塚さんと一緒に東京まで出掛けることもあります。

最近では、スポーツジムに行くことにもはまってます。部活やスポーツをあまりしてこなかったので、運動して汗をかくことが楽しく週に4回ほど通うこともありました。

また、母と一緒に温泉巡りもしています。先日も諏訪へ温泉に入り、女二人でプチ旅行へ行ってきました。

○中野市のイメージについて
実家が農業をやっていることもあ



▲自然豊かな田園風景を見ると、心も豊かな気持ちになります。

り、田園風景が広がっているイメージがあります。

歩くと四季折々の自然を感じることもでき、疲れた時や忙しい時でもその田園風景を見ることが気持ちよく落ち着きます。

○今後チャレンジしたいこと

趣味が少ないので、新しい趣味を探したいです。また、来年には結婚して新生活がスタートするので、それに合わせて今まで経験したことのないことにもチャレンジしていきたいです。

○これからのまちづくりに望むこと
買い物が好きなので、色んな物を選んだり見ることができると嬉しいです。



さかい みなえ
酒井 美苗 さん
(介護士・草間)

池田市長の

わくわくレポート

vol. 6



就任1年を迎えて
観光推進とスピード感

11月23日で市長就任満1年を迎えた。振り返ってみると時間だけが猛スピードで過ぎて行った。そうした中、中野市の抱えるさまざまな課題の中でも、観光施策に関しては、種まきと思念に明け暮れ、そのスピード感がないことに内心忸怩たるものがある。

北陸新幹線開業まで1年4カ月であるが、中野市としての観光施策が総合的かつ具体的に皆さんに、まだお示しできていない。イベントスペースでの集客は、これまで市民の皆さんや関係諸団体の皆さんにより着実に、かつ継続的に行われてきているが、新たな視点で中野市への誘客を如何に図るかといったコンセンサス形成を図り、明確な観光政策ビジョンを早期に市民の皆さんと共有したいと考えている。まずは域外の方と市民の皆さまとの協働によるプラットフォームを至急立ち上

げ、中野市の新たな観光戦略・ビジョンを打ち立てたい。加えて、先行して中野市を外に向かって積極的に情報発信していくことも、粛々と進めたいと思う。

先ごろ「Teachme」という新たなソフトを導入した(写真)。歩き、巡り、食べて、観る、といった回遊するためのストーリーを提供できるツールであり、市役所職員で運用を試行したが、いずれは、市民の皆さんにお願いし、情報発信者になって欲しいと考えている。また、ご覧になっていない方は、ぜひ市公式ホームページにリンクボタンがあるので見て欲しい。

報道等によれば、2013年9月の訪日外客数は86万7100人で、9月として過去最高となり、8カ月連続で前年同月比を上回って、1月からの累計で773万1400人(前年同期比22.4%増)となったこと。観光資源豊富な中野市がこうした流れに乗らない理由はない。今一度、一人ひとりがこの中野市の魅力を確認していただき、何ができるか、何をしたいか考えて欲しい。無論のこと、先頭に私が立たせていただこうと思っている。